

# ゼロコスト・コリドー（輸入向け：Long Call + Short Put）

シミュレーション報告（前回レポートと同一体系）

## 1. 戦略の概要

輸入企業がUSD/JPY上昇（円安）リスクに備えるためのヘッジ。ロング・コールとショート・プットを組み合わせ、プレミアムの受払を概ね相殺することで、初期コストを抑えつつ損益をレンジ内に収める。名称は「ゼロコスト」だが、市場条件によりわずかな受取／支払が残ることがある。

## 2. パラメータ条件

S0（USD/JPY）= 150.0、Kp（Put）= 148.0、Kc（Call）= 152.0、数量=1,000,000 USD、Vol=10%（年率）、満期=1か月、USD金利=4.20%、JPY金利=1.60%、借入年率=4.20%。

## 3. コスト比較

オプション純額（受取 - 支払）= +188,215 JPY（受取超過）。内訳：Put受取 1,003,679 JPY、Call支払 815,464 JPY。借入によるヘッジの参考コスト：525,000 JPY（元本150,000,000円 × 年率4.2% × 1か月）。

## 4. リスク限定効果

レンジ内最小損益：-1,811,785 JPY（S\_T=152）。上方（円高）では一定水準まで利益を確保でき、下方（円安）が進むと損失は152円付近で頭打ちになり、無限大の損失に拡大しない。

## 5. 損益分岐点分析

レンジ想定：130.0～160.0。グラフより152円近辺で損失が固定化し、それより円高側では利益が維持される。損益カーブの屈曲点がヘッジの有効域を示す。

## 6. 総括

初期コストを抑えつつ、急激な円安に対して損失の上限を作れる実務的ヘッジ。一方で、一定以上の円安メリットは放棄するため、購買の実需や為替見通しに合わせた設定（行使価格）の最適化が重要。

## 7. 参考図表

（A）シミュレーション画面の条件・サマリー、（B）ゼロコスト・コリドーの損益曲線。

ゼロコスト・コリドー（Long Call + Short Put）

S0 (USD/JPY)	Kp (Put)	Kc (Call)	Vol (%/年)	r_dom JPY (%/年)	r_for USD (%/年)
150.0	148.0	152.0	10.0	1.6	4.2
数量 (USD)	満期 (月)	借入年率 (%)	S最小	S最大	ポイント数
1000000	1.0	4.2	130.0	160.0	251

描画

サマリー

オプション純額（受取 - 支払）

**188,215 JPY**

受取（Put）：1,003,679 JPY  
支払（Call）：815,464 JPY  
名目比（純額）：0.13%  
( Put Premium  $1.0037 \times 1,000,000$  USD / Call Premium  $0.8155 \times 1,000,000$  USD )

借入利息

**525,000 JPY**

( 年率 4.20%  $\times$  1.0ヶ月 / 元本：150,000,000 JPY )

レンジ内最小損益

**-1,811,785 JPY**

at  $S_T = 152.000$  (USD/JPY)  
レンジ：130.0 ~ 160.0

ヘッジ比較（Zero-Cost Combo vs Borrow）

